



令和2年度第1号



理事長あいさつ

御子柴直樹 理事長

新芽から桜の花と、春の訪れを感じる季節となってまいりました。本来であれば、春の陽気とともに新年度を迎え新しい学校生活をスタートしていることと存じませぬ。本年度は、学校のみならず、全世界の様々なところで今まで経験したことのない大きな試練からの新年度スタートとなりました。保護者の皆さま、ご家族、ご親族方々が、心身ともにご健康であることを心から願っております。



さて、このような状況において新年度を開始するにあたり、安全、健康を第一に、出来るだけ早く子どもたちに可能な限り充実した学習環境を提供出来るよう、鋭意努めて参る所存です。今までに無い新しい取り組みも試す必要に迫られています。手探りな部分や、試行錯誤があるかもしれません。今までの価値基準と異なる発想も必要とされております。この試練をチャンスと捉え、新たなる取り組みに大いに挑戦し、この50年の歴史ある補習校の存続からさらなる発展に向けて、理事会・教職員そして保護者が一丸となり取り組んでまいります。皆さまのなご一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校長あいさつ

土屋和也 校長

日本の年号が変わる年は、世界的に大きな出来事が起こるのでしょうか。昭和から平成では、ベルリンの壁が崩壊し、マルタ会議で東西冷戦が終結しました。この平成から令和への転換期では、COVID19の感染の拡大に対し、世界中が闘っています。世界の国や地域の子どもたちは、学校にいけない現状と向かい合い、心と身体の健康に努めていることでしょう。



現代は予測不可能な社会であるといわれていますが、ほんの数ヶ月前までは、世界がこのような状態になるとは予想できませんでした。これから生きる子どもたちには、自分の現在の状況に対して、「自分なら何が出来るだろうか」という課題意識をもち、それに向かって主体的に取り組む意欲が必要です。学校に行けない状況の中で、周囲に言われてするのではなく、自分から生活にメリハリをつけ、課題に対して主体的に生きていく学習の場になることを願っています。目当てをもって、毎日少しずつでも実践していく姿が、子どもをたくましく育てる大きな力になる機会だと考えます。

新理事所感（役員・五十音順）

松浦克次（副理事長・法規委員長）

昨年に引き続き今年も理事を引き受けさせていただくこととなりました。サンフランシスコ校で3年生と幼稚部で子供がお世話になっております。理事会の一員として日本語補習校のために微力ながら貢献していきたいと考えております。一年間よろしくお願いいたします。



壇洋一郎（監査役・総務委員長）

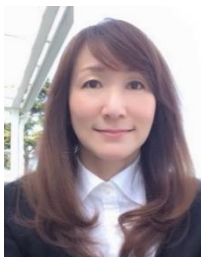
昨年度に続いて理事会に参加させていただくことになりました。小学校4年生の長男と幼稚部の次男がサンノゼ校でお世話になっております。



いつか世界の架け橋となる子ども達が日本語で多くのことを学べるように、理事会の活動を通して補習校の運営のお役に立てればと思っています。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

高村竹美（財務役・財務委員長）

昨年度に引き続き理事会に参加させていただくことになりました。50周年を無事に迎えることが出来た補習校ですが、世界の状況は刻々と変化を続け、予測も出来ない事態となっています。そんな困難にも立ち向かい、これからの補習校の存続と発展のお手伝いが出来ますよう、未来ある子供たちのために、精一杯頑張っていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



大貫一男

昨年に引き続き、本年度も理事会に参加させていただくことになりました。

保護者の皆様におかれましては、コロナウイルスの影響により先行きの見えない現状と制限の掛かった生活に加え、お子様の学校のこと等々今迄培ってこられた経験則が全く活かされない状況に大変戸惑われていることと思います。

私自身も気付けば感染者の推移や関連記事に目を通していたりと、正直気の休まらない日々を過ごしております。

補習校の運営は、ここからしばらくはさらなる困難に直面していくと思っております。

みんなで一緒に机を並べられない状況の中、子供達の日本語離れや学習面の遅れ等も心配です。保護者の皆様のお声に耳を傾け、それらを理事会に届けつつ、子供達にとって最善の道を用意できるよう理事として尽力する所存です。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

加賀谷英生

今年度からサンフランシスコ日本語補習校保護者会会長として理事会に参加させていただくことになりました。本年度はCOVID-19の影響もあり先行き不透明な部分も多々あるかと思いますが、少しでも皆様方のお役に立てるように精一杯頑張ります。何卒よろしくお願いいたします。



金子さと恵

今年度より理事会に参加させていただくことになりました。今年小学4年生になる双子の娘と息子はサンフランシスコ校に通っております。



どのような状況であっても子供たちに日本語教育をと尽力されている先生方や事務局の方々をはじめ多くの保護者の方々と共に、少しでも補習校の運営にお役に立てるよう頑張っております。

川北琴美

本年度より理事会に参加させて頂くことになりました。サンノゼ校の4年生と幼稚部で子供たちがお世話になっております。昨年度は保護者会役員を経験し、たくさんのお子たちの笑顔に触れる機会がありました。本年度は、19年度役員で学ばせていただいた経験を活かし、理事会を通して補習校へ貢献することが出来たらと思います。一年間よろしくお願いいたします。



斎藤千尋

昨年度に引き続き理事会に参加させて頂くことになりました。補習校通いは7年目になります。サンフランシスコ校に6年生と1年生の娘がお世話になっております。



本校が保護者の皆様、先生方、そして事務局の方々のご尽力によって成り立っていることを痛感しております。本年度は校舎に登校ができない状況でのスタートですが、子供たちが、日本語・日本文化を吸収して成長していけるよう、安全で楽しい学習環境を守っていけるお手伝いがありましたら幸いです。

どうぞ一年間宜しくお願い致します。

佐伯あや

昨年度に引き続き理事を務めさせていただきます。



2019年度の最終登校日から、ずっと先生や友達に会うことができずにいる子供たちが、少しでも楽しく日本語の学習を続けられるよう、微力ではありますができる限りのサポートをしたいと考えております。このような未曾有の世界的困難に、保護者の皆さま、そして教職員の皆さまの協力を得て立ち向かい共に乗り越え、一日も早く通常の補習校生活を再開できることを願っています。

様々な変更を余儀なくされる一年となりそうですが、どうぞよろしくお願いいたします。

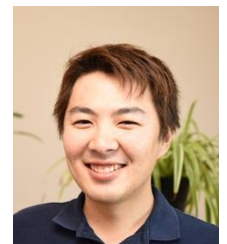
高津裕

20年度のサンノゼ保護者会副会長として理事に参加させていただくことになりました。正直理事としての感慨などは特にありません。しかし COVID-19 による前代未聞の異常事態が続く中、活動を通じて地域の日系コミュニティを支援し、突然の環境変化にとまどう子どもたち、そして先が見えない中、不安をかかえ仕事に子育てに奔走している保護者の皆様に、少しでも安心感を与えるお手伝いできればと考えています。やまない雨はなく、この苦境も必ず乗り越えられる。そう信じています。がんばりましょう。よろしくおねがいします。



内藤弘朗

今年度のサンノゼ校保護者会会長の任を受け、理事会に参加することになりました。小学四年生になった息子と、今年度から幼稚部に入学する娘がいます。



この紹介文を書いている段階では Shelter in Place が施行されている段階で、令和2年度は今までにない一年になるのだろうと予想しています。そんな中で理事会メンバーとして何が出来るの

かを考えつつ、一年間努めさせていただき所存です。
どうぞよろしくお願い致します。

齒黒成人

保護者の皆様のボランティア活動により、昨年度より補習校の IT システム刷新を開始させていただくことができました。COVID-19 により状況は大きく変わり、現在は並行してオンライン授業に向けての IT 調査や設定も保護者ボランティアの方々に行っております。昨年度理事をさせていただき、補習校は保護者ボランティアに支えられて運営されていることを痛感いたしました。本当に感謝しています。子どもたちの目がより輝くように、失敗から学んでよりチャレンジできるように、今年度も引き続き IT システムによる改善を担当させていただければと思います。よろしく願いいたします。



IT 関連ボランティア募集のお知らせ

理事会では、以下のメンバーを募集しています。当メンバーは、補習校の当番が免除されます。

1. オンライン授業サポートメンバー

COVID-19 により、急遽オンラインでの授業、リモートでの課題提出など、IT を用いた学校運営を行うことになりました。当補習校は生徒数が約 1,700 と多く、手作業で行える範囲には限りがあります。リモートであってもセキュアで安全かつ楽しい学校を目指すため、オンライン授業のための改善、運用、管理、テスト、サポートなどの一部を行っていただくメンバーを若干名募集いたします。

2. System50 協議会メンバー

保護者の皆様、先生方、そして事務局で使用しているシステムの刷新を計画しています。この新システムの導入にあたって、システムの設計、開発の計画・管理などの一部を担っていただくメンバーを若干名募集いたします。主な業務は以下の通りですが、各メンバーで分担して、無理のない範囲で行っていただきます。

1. 補習校新システムの要件整理
2. 補習校新システムのデザイン
3. 補習校新システムの開発
4. システムのテスト・評価

また、毎週一回から二回のミーティング（オンライン）に参加していただきます。

皆様のお子様を通うサンフランシスコ日本語補習校のシステムをより良いものにしていくために、お力をお貸しください。応募、業務内容など詳細につきましては、以下まで email でお問い合わせください。

naruto.haguro@bd.sfjs.org

(担当理事：齒黒)

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月 1 回発行されます。 発行人：御子柴直樹
San Francisco Japanese School 22 Battery Street, #612, San Francisco, CA 94111
電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542 電子メール：
理事会・事務局 office@sfjs.org 学校 sfjs@sfjs.org
ホームページ：<http://sfjs.org/>
理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。
匿名でのお問い合わせ等にはお答えしておりません。
無断複製・転載を禁ずる。© San Francisco Japanese School
2020 All Rights Reserved.